



# 令和7年度国東市学力調査の 結果について

## R7 国東市学力定着状況調査結果

## 小学校

偏差値

小学校	国語		算数		理科	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
1年生	51.5	54.0	52.8	52.7		
2年生	51.2	50.3	52.1	51.0		
3年生	49.4	50.1	51.0	52.1		
4年生	54.1	53.7	54.3	53.6	53.2	53.6
5年生	52.9	53.5	53.6	52.9	51.0	52.2
6年生	52.0	53.0	53.4	51.4	51.2	51.9

は、偏差値50以上の項目

R6  
27 / 30 → R7  
29 / 30

偏差値

小学校	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生	51.5	54.0	52.8	52.7		
2年生	51.2	50.3	52.1	51.0		
3年生	49.4	50.1	51.0	52.1		
4年生	54.1	53.7	54.3	53.6	53.2	53.6
5年生	52.9	53.5	53.6	52.9	51.0	52.2
6年生	52.0	53.0	53.4	51.4	51.2	51.9

-3	-2	-1	-0.5	-0.5 +0.5	0.5	+1	+2	+3
----	----	----	------	--------------	-----	----	----	----

偏差値

	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生						
2年生	1.0	0.5	-1.0	-1.9		
3年生	-0.3	-0.8	-0.2	-2.2		
4年生	1.3	0.6	1.4	-0.5		
5年生	0.7	2.2	1.4	0.7	-2.2	-0.1
6年生	-0.1	0.4	-0.4	-3.2	-1.1	-0.5

は、昨年度偏差値を上回った項目

R6  
13 / 24 → R7  
10 / 24

偏差値

	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生						
2年生	1.0	0.5	-1.0	-1.9		
3年生	-0.3	-0.8	-0.2	-2.2		
4年生	1.3	0.6	1.4	-0.5		
5年生	0.7	2.2	1.4	0.7	-2.2	-0.1
6年生	-0.1	0.4	-0.4	-3.2	-1.1	-0.5

-3	-2	-1	-0.5	-0.5 +0.5	0.5	+1	+2	+3

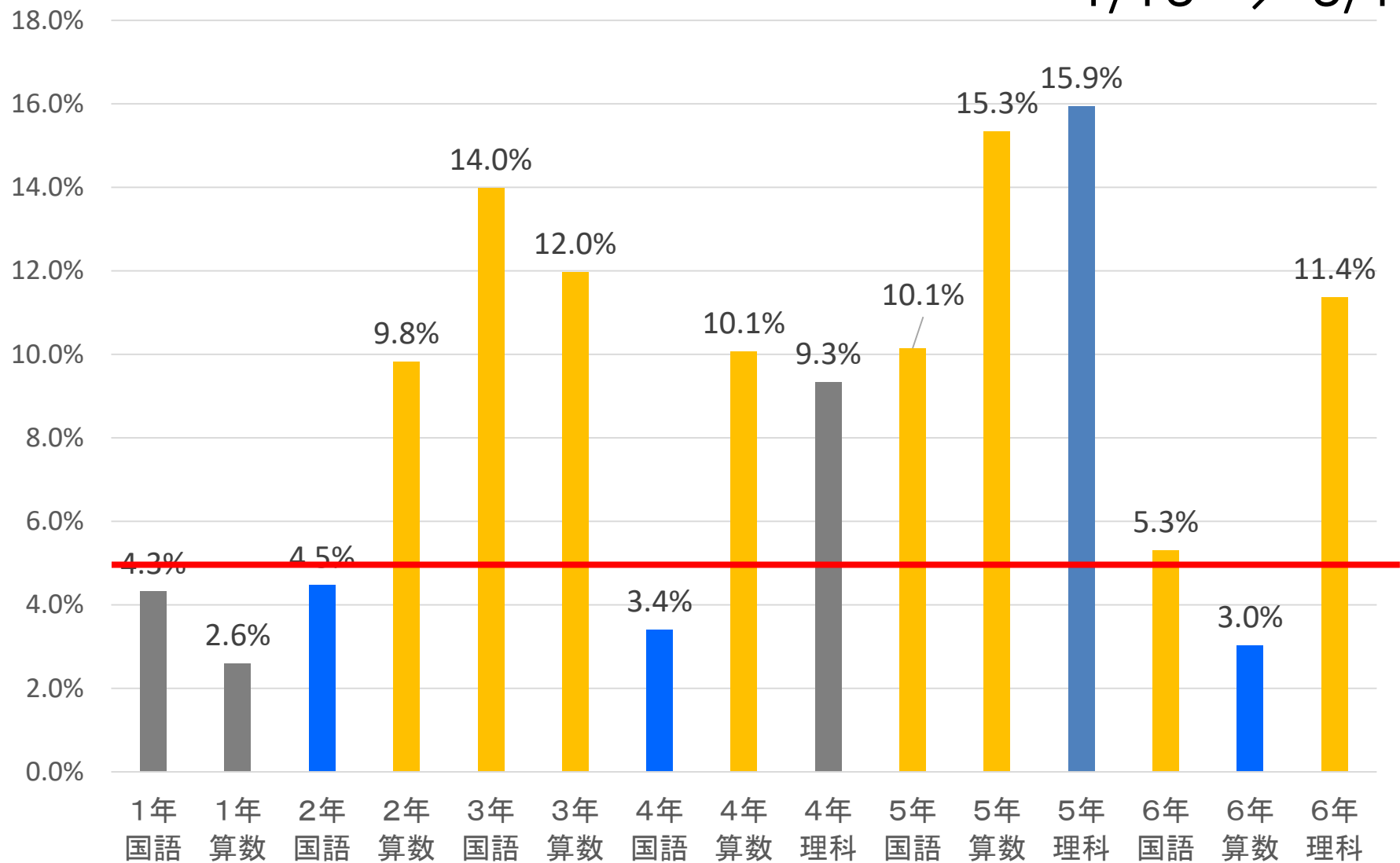
# 正答率度数分布（小学校）

(経年比較で) 黄 昨年度より出現率増  
青 昨年度より出現率減

5割未満出現率

合計達成教科

1/15 → 5/15



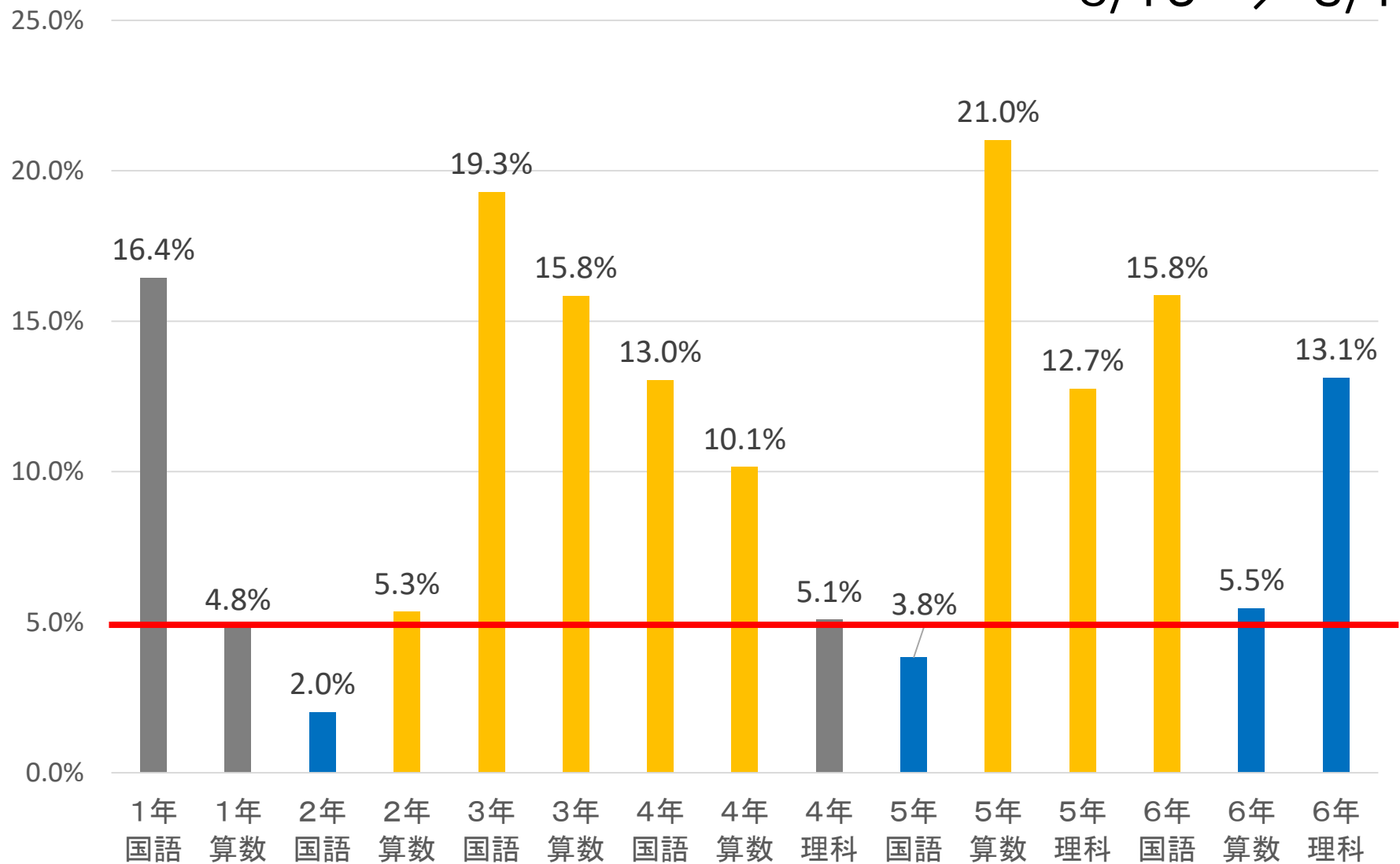
# 正答率度数分布（小学校）

# R5

5割未満出現率

合計達成教科

6/15 → 3/15



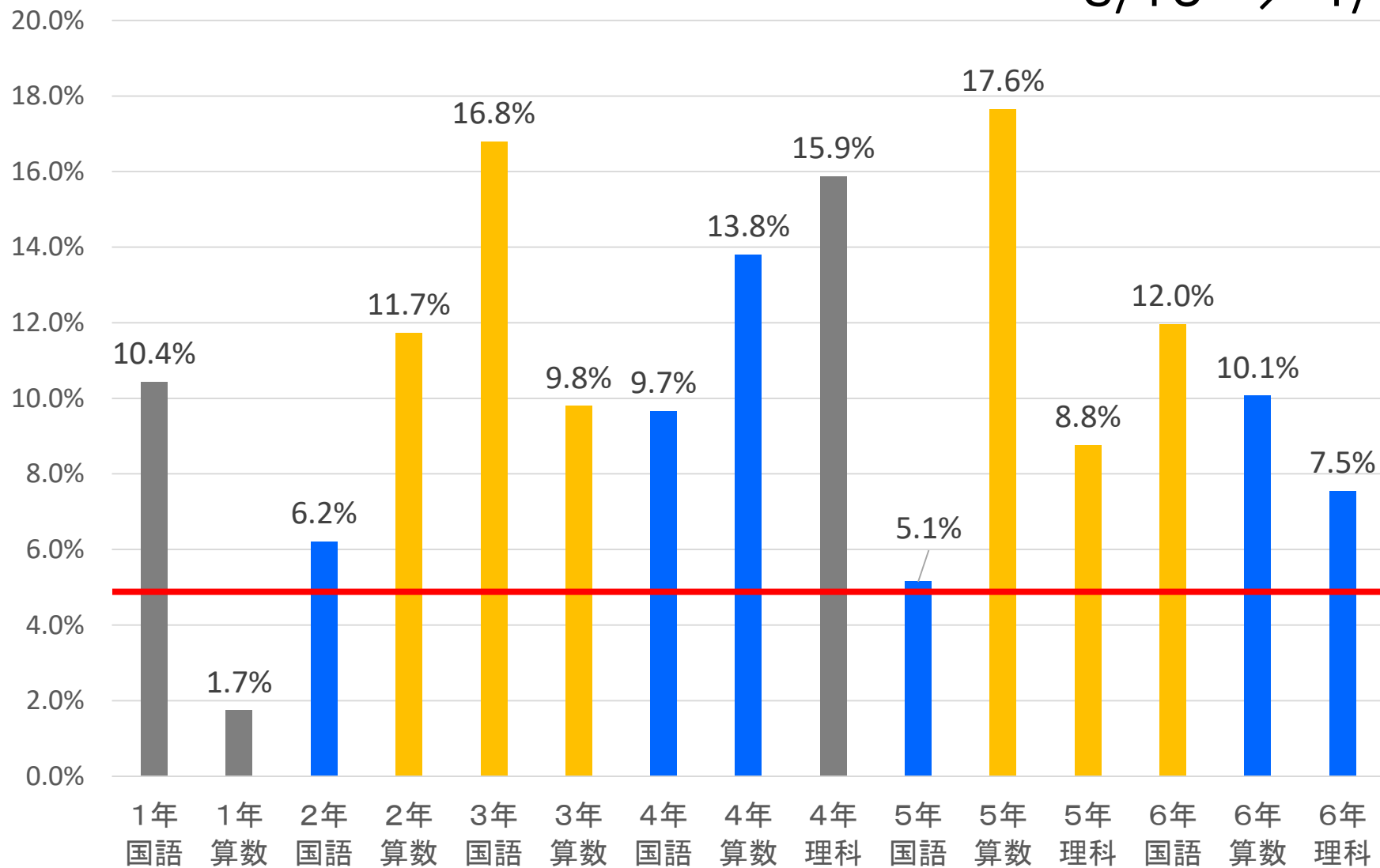
# 正答率度数分布（小学校）

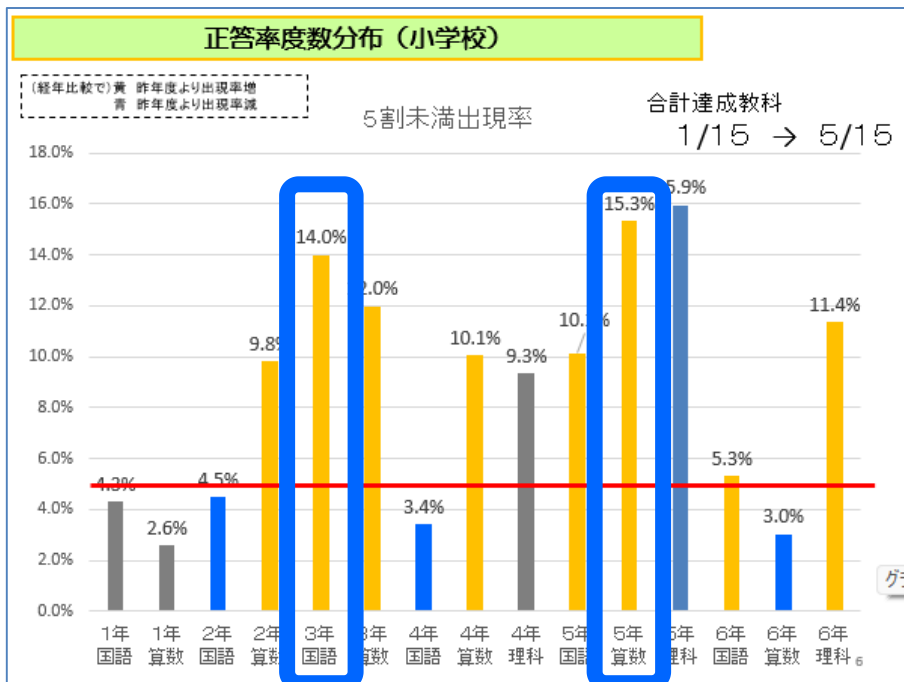
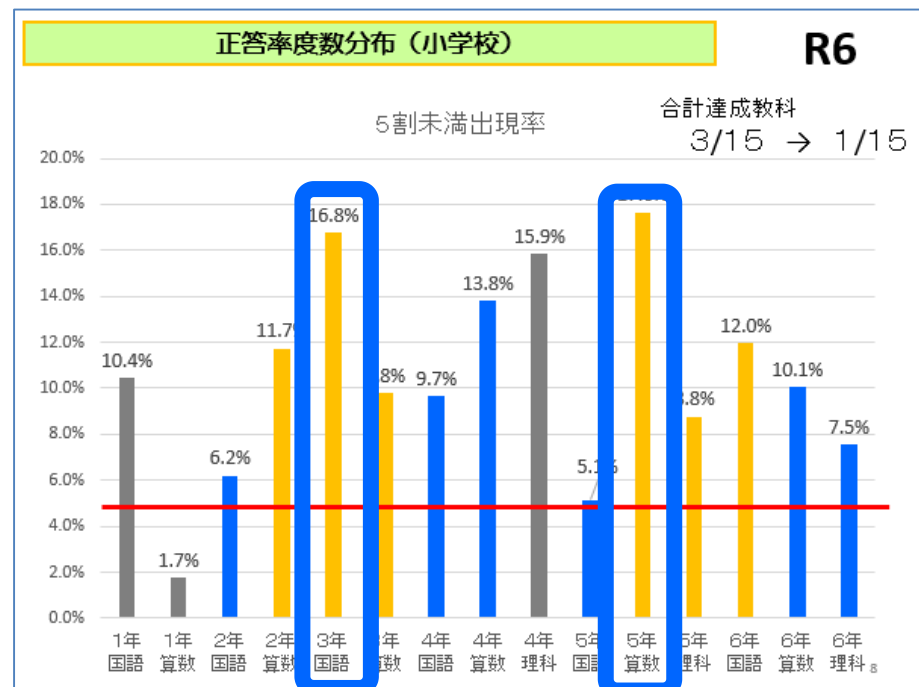
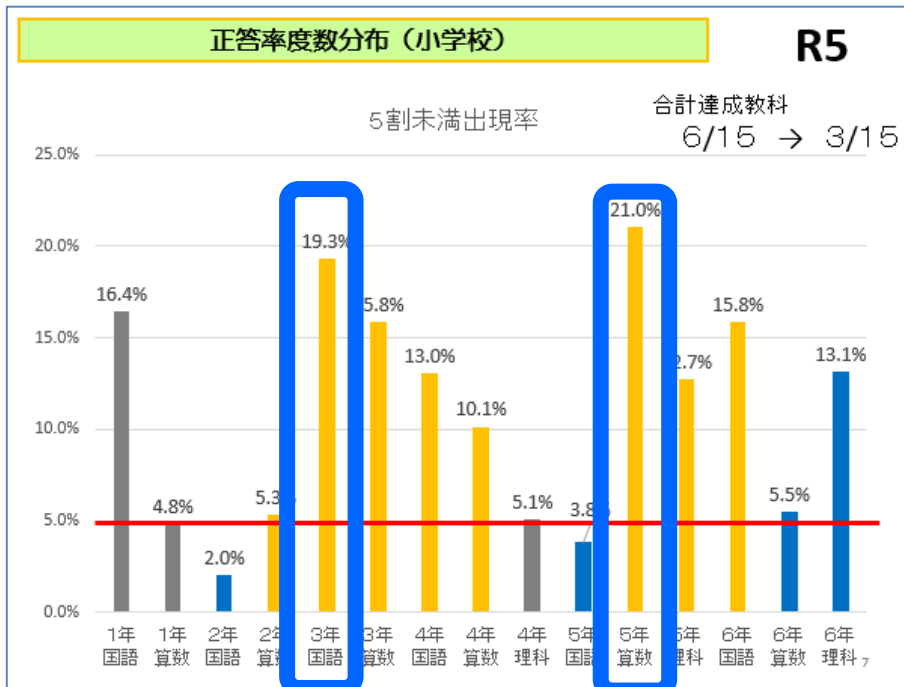
# R6

5割未満出現率

合計達成教科

3/15 → 1/15





小3国語、小5算数で顕著に増加  
(小3国語)

□話すこと・聞くこと

・伝えたいことの中心

□言葉の特徴や扱い方に関する事項

□読むこと

・叙述をもとに捉える

(小5算数)

変化と関係

～単位量あたりの大きさ、比例

偏差値

中学校	国語		社会		数学	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
1年生	51.4	52.4	49.5	49.5	51.3	49.6
2年生	51.1	51.3	50.0	50.2	49.8	51.0
3年生	52.2	51.3	49.5	50.1	49.7	48.8
	理科		英語			
	基礎	活用	基礎	活用		
1年生	49.3	50.5	50.1	50.6		
2年生	50.8	49.9	47.2	50.3		
3年生	51.4	51.1	50.3	51.1		

は、偏差値50以上の項目

R6  
17 / 30 → R7  
20 / 30

偏差値

中学校	国語		社会		数学	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
1年生	51.4	52.4	49.5	49.5	51.3	49.6
2年生	51.1	51.3	50.0	50.2	49.8	51.0
3年生	52.2	51.3	49.5	50.1	49.7	48.8
	理科		英語			
	基礎	活用	基礎	活用		
1年生	49.3	50.5	50.1	50.6		
2年生	50.8	49.9	47.2	50.3		
3年生	51.4	51.1	50.3	51.1		

-3	-2	-1	-0.5	-0.5 +0.5	0.5	+1	+2	+3
----	----	----	------	--------------	-----	----	----	----

同一集団経年比較（偏差値の比較）

中学校

偏差値

	国語		社会		数学	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生	2.3	1.5			-2.5	-4.5
2年生	0.3	-0.6	-0.6	0.7	0.4	0.4
3年生	0.9	-0.8	-0.8	-1.4	-0.9	-4.0
	理科		英語			
	知識	活用	知識	活用		
1年生	-4.1	-1.0				
2年生	-0.6	0.2	1.2	2.7		
3年生	1.9	5.0	4.4	2.7		

は、昨年度偏差値を上回った項目

R6                      R7  
10 / 26 → 14 / 26

同一集団経年比較（偏差値の比較）

中学校

偏差値

	国語		社会		数学	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生	2.3	1.5			-2.5	-4.5
2年生	0.3	-0.6	-0.6	0.7	0.4	0.4
3年生	0.9	-0.8	-0.8	-1.4	-0.9	-4.0
	理科		英語			
	知識	活用	知識	活用		
1年生	-4.1	-1.0				
2年生	-0.6	0.2	1.2	2.7		
3年生	1.9	5.0	4.4	2.7		

-3	-2	-1	-0.5	-0.5 +0.5	0.5	+1	+2	+3
----	----	----	------	--------------	-----	----	----	----

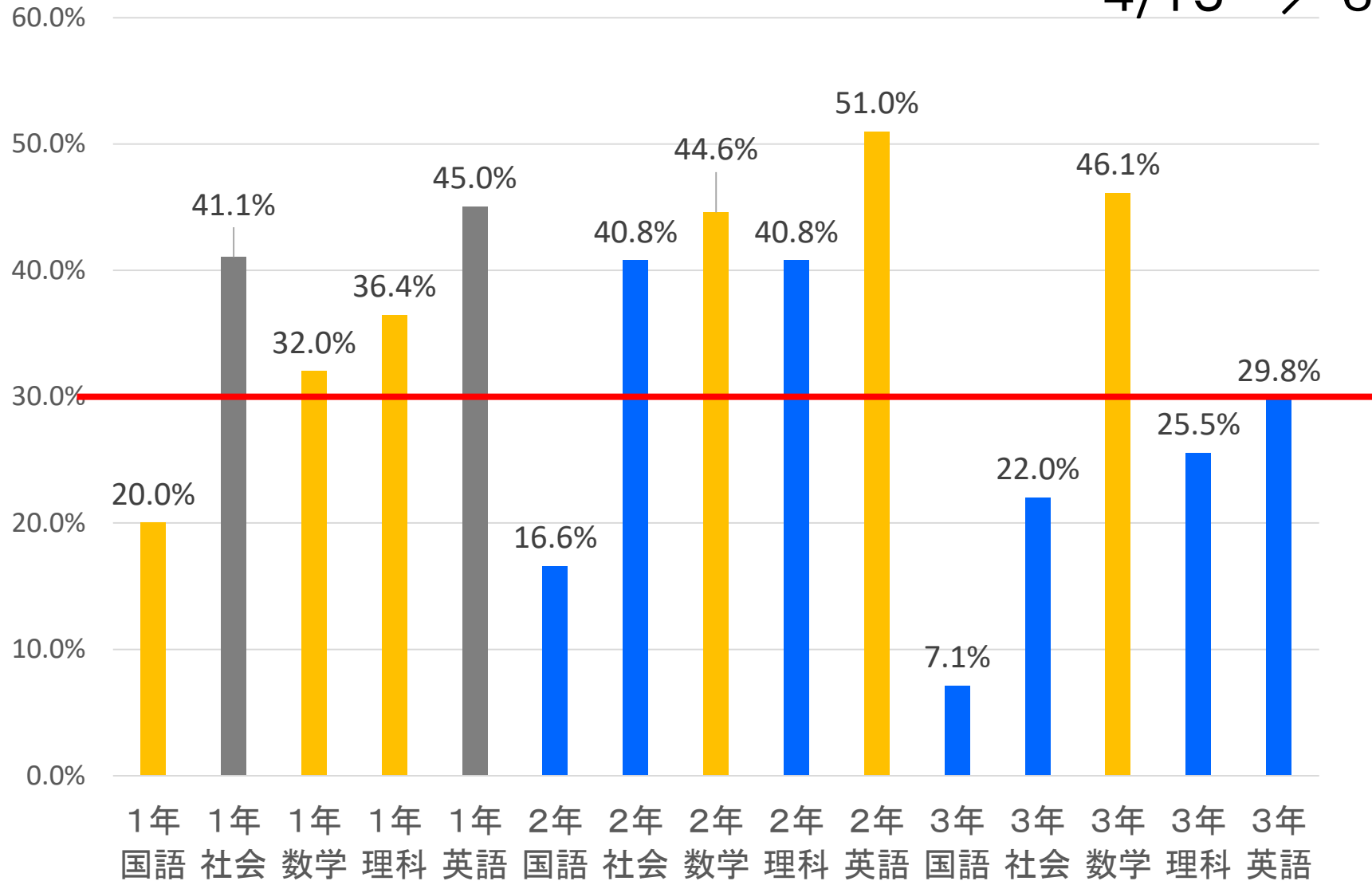
# 正答率度数分布（中学校）

(経年比較で)黄 昨年度より出現率増  
青 昨年度より出現率減

5割未満出現率

合計達成教科

4/15 → 6/15



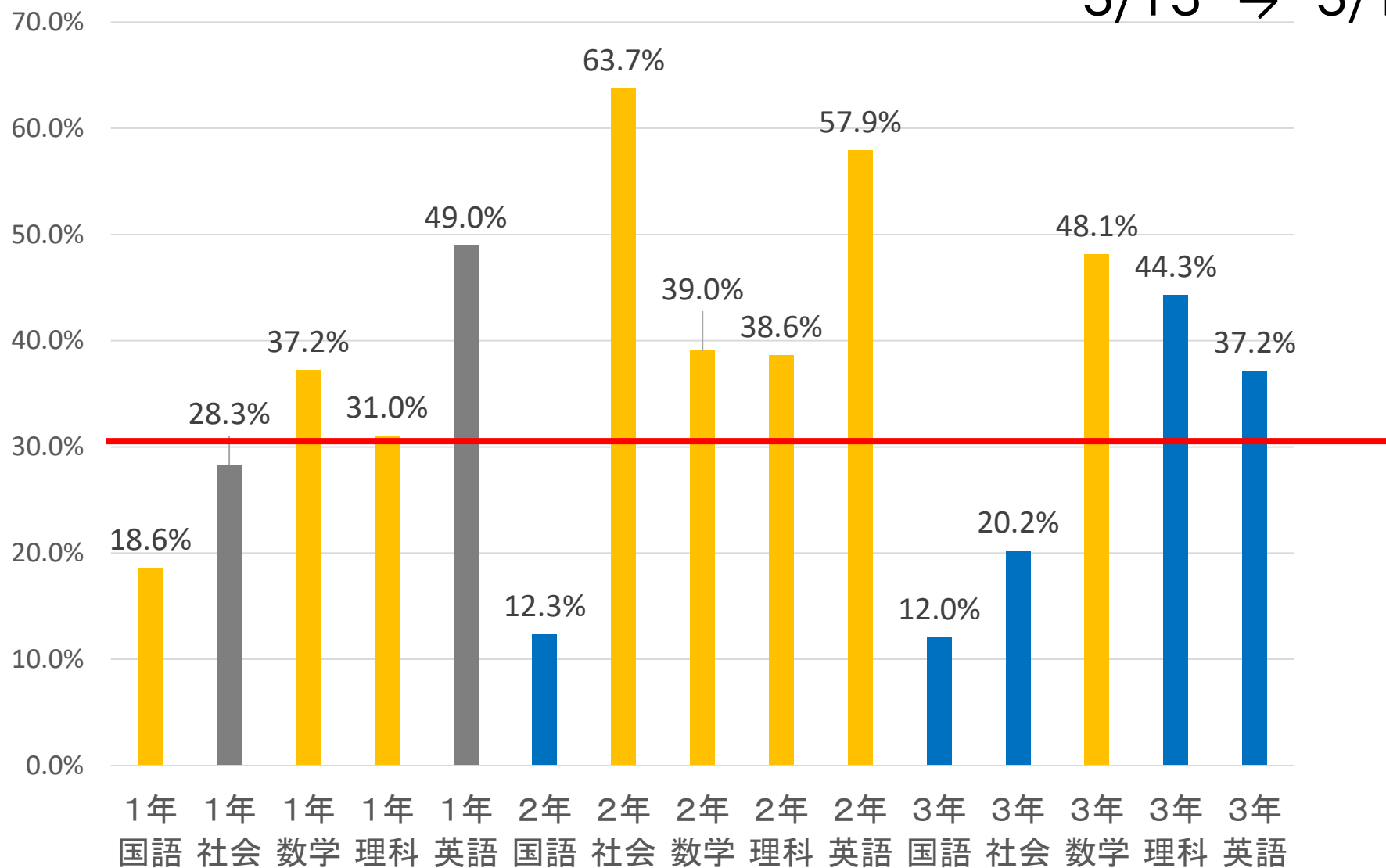
# 正答率度数分布（中学校）

# R5

5割未満出現率

合計達成教科

5/15 → 5/15



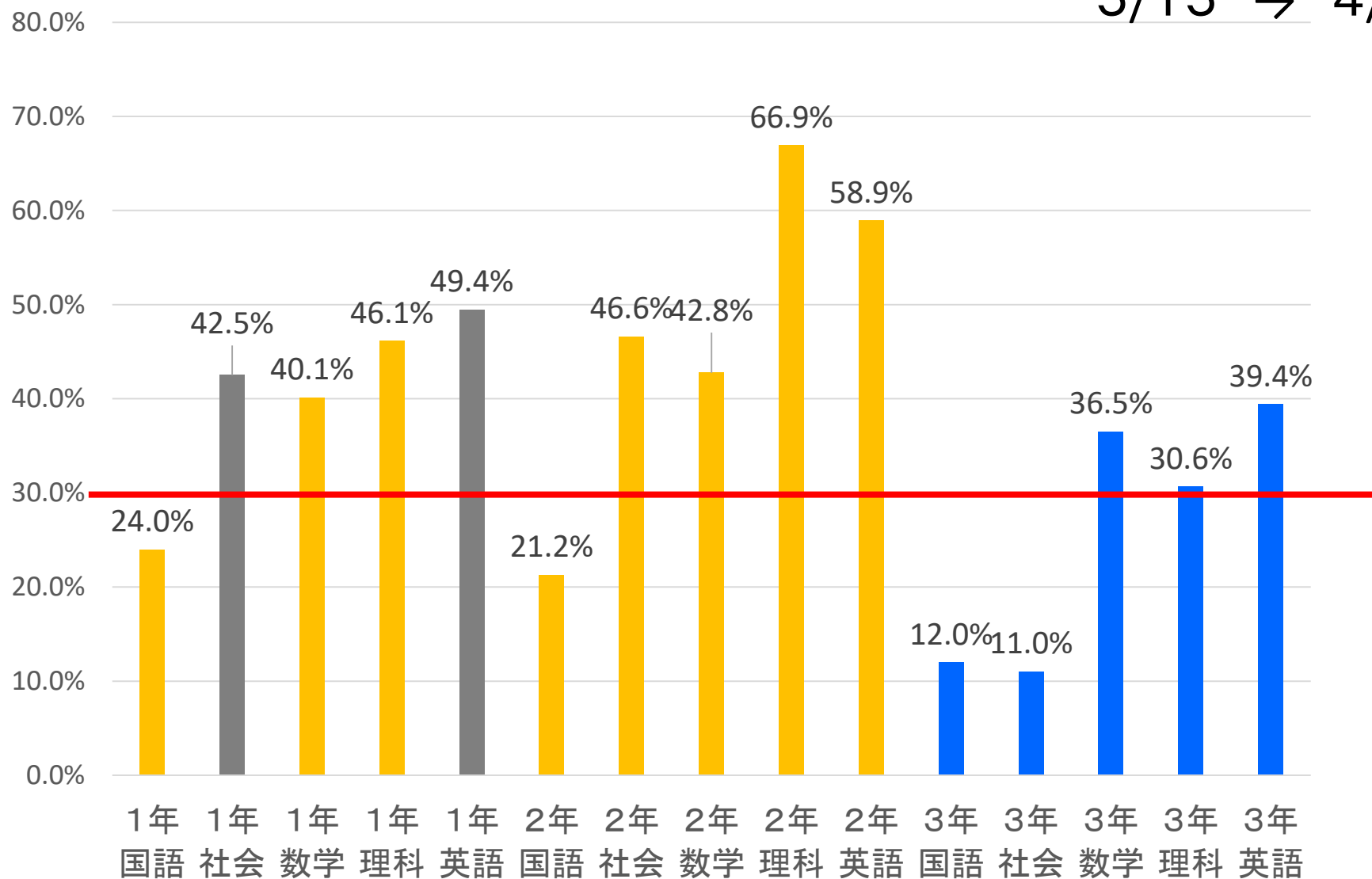
# 正答率度数分布（中学校）

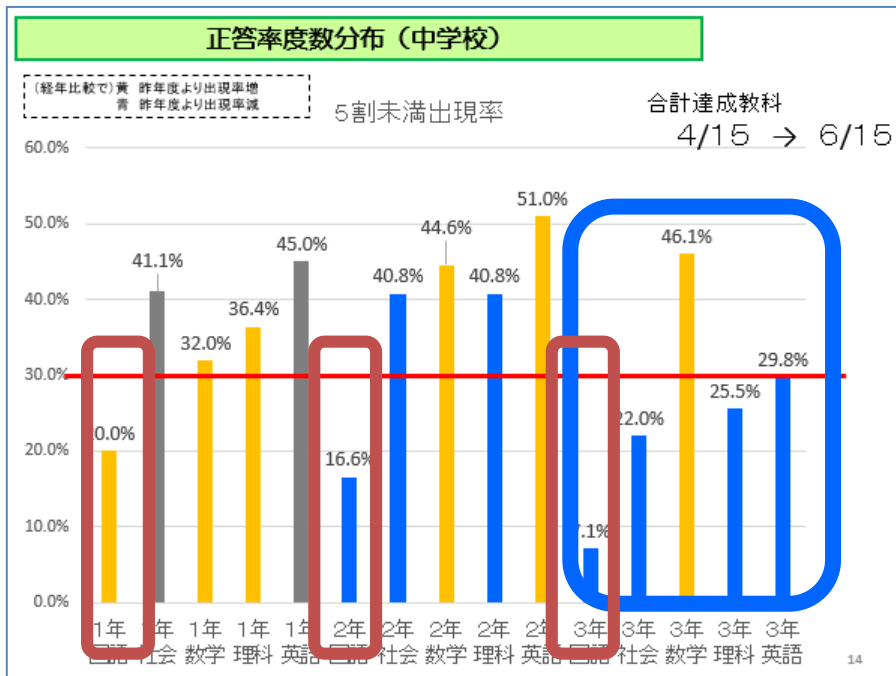
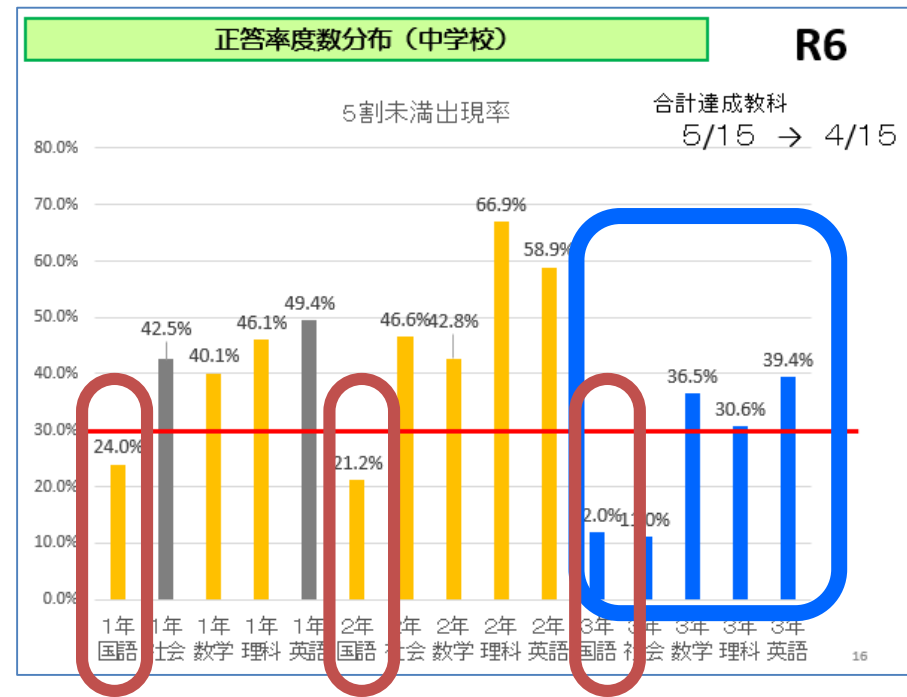
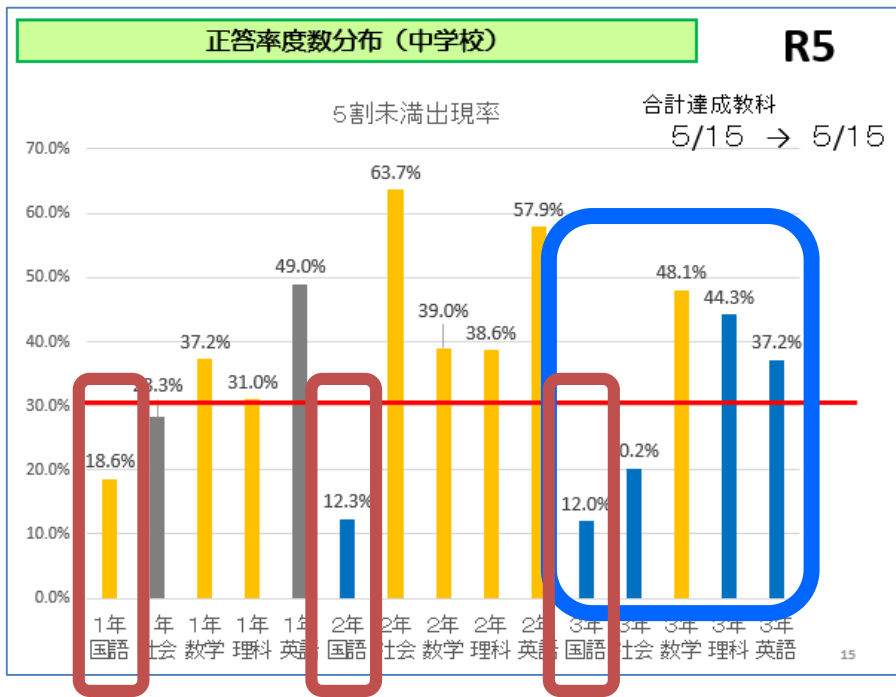
# R6

5割未満出現率

合計達成教科

5/15 → 4/15





中2→3 明確に減少する

- ・数学は減少しにくい
- ・毎年20P以上減少  
～社会・英語 中3時のどんな指導が奏功しているか

国語のC層の少なさ

- ～教科の特質や系統性のみが要因か
- 授業改善のヒントがないか

# 今年度の結果より

## ・小中連携の一層の推進の必要性

教科担任制の推進、授業展開、進度、個別の支援など、それぞれの工夫を学び合う(小学校・中学校それぞれで取り組むべきことを検討する → 小中合同での研修を通しての交流)

## ・個別最適な学びの推進

C層の子どもへの支援をいかに行うか。A層の子どもにいかに関わるか。「全員参加」の授業を多様な手立てで目指す必要性